

1/11 3学期始業式

新年を迎え、学園の3学期がスタートしました。どの学年の子供たちも充実した冬休みを過ごすことができた様子でした。9年生にとってはいよいよ勝負のときとなります。どの学年も気持ちを新たに今年度のまともめに向かいます。キーワードは校長先生が話された「挑む」です。



1/17 ふれあいコンサート in 白川郷学園

ライツ室内管弦楽団・チェンバー・プレイヤーズのメンバーによるふれあいコンサートが行われました。このコンサートは子供たちに豊かな感性と深い情操を育んでもらいたいと「神戸風月堂」のご支援で開催されました。メゾ・ソプラノの歌とピアノ、そして打楽器の素晴らしい演奏を聴かさせていただきました。台所にある調理器具を使って演奏したり、ねこの鳴き声をまねて歌ったりと楽しい曲をたくさん聴かせていただきました。



スキー教室 1/18 1~4年 1/22 5~8年



今年度も「白弓スキー場」にてスキー教室を行いました。ここ数年は雪不足が心配されていましたが、今年度はそんな心配もなく、とてもよいコンディションで行うことができました。事前調査で編成したグループごとに地域の方々に講師に来ていただき、それぞれのグループのレベルに合わせてじっくりと教えていただきました。滑り込んでいくうちにどんどんと上達していく姿が見られ、ゲレンデを風を切って気持ちよく滑っていました。

地域の講師のみなさま、ありがとうございました。



書き初め展

3学期に入り、各学級では書写の学習で、書き初めを行いました。冬休みに練習した成果を出そうと、集中して真剣に取り組み、素晴らしい作品を書き上げました。ふれあいブリッジに展示してあります。



《金賞》

- 1年 山下 彩葉
- 2年 山本 慕大
- 3年 柘田 奈那美
- 4年 鈴口 真央
- 5年 山本 絢心
- 6年 木下 歩紀
- 7年 松本 万優
- 8年 板谷 遼三郎
- 9年 今藤 星空
山田 章太

《銀賞》

- 1年 井之上 峰悠/宮丸 結奈
- 2年 新谷 陵一郎/南 結斗
- 3年 大塚 遼翔/田脇 龍吾
- 4年 坂本 美羽
- 5年 加藤 遼/高橋 碧
原 流星
- 6年 神田 栄貴/田口 茉奈
- 7年 今藤 青空/滝 愛葉
- 8年 天野 雄大/長田 明佳
- 9年 鈴口 琉輝/水木 心愛
南 昂佑



今回は5年生が保育園と交流しました。5年生が収穫した「もち米」で一緒にお餅つきをしたり、遊んだり楽しむことができました。5年生はちょっぴり、お兄さん、お姉さん気分になり、ほほえましい様子をたくさん見ることができました。

1/25 保育園との交流 (5年)

1/18 氷見・灘浦小との交流 (5・6年)

氷見市の灘浦小 5・6年生 18名が学園を訪れ、5・6年生と交流しました。一緒に活動したり、給食を食べたりと楽しいひとときを過ごしました。



今回は雪の中での避難を想定した訓練でしたが、実際に外は吹雪の天候となり、緊張感をもって訓練を行うことができました。どんなときも自分の安全を自分で守りながら、全員が確実に避難することが大切であることを教えていただきました。今はすっかり雪の中の学園です。

この経験をいざというときに生かしましょう。

1/24 命を守る訓練



入賞おめでとう!

大野郡青少年読書感想文コンクール

- 優秀賞 鳥原 雫愛 (2年) 梨谷 ほのか (3年) 山田 章太 (9年)
- 優良賞 松田 彩来 (1年) 原 柊斗 (4年) 梨谷 ひなた (5年)
- 神田 栄貴 (6年) 白木 咲帆 (7年) 間瀬 康太 (8年)

第8回東海少年柔道教室チャレンジカップ

- 3・4年生軽量級の部 準優勝 松本 遼太郎 (4年)

第84回岐阜県スキー選手権大会

- 中学生女子1・2年組 3km フリー競技 第4位 北✓ 乃亜 (8年)
- 中学生女子1・2年組 3km クラシカル競技 第4位 北✓ 乃亜 (8年)

岐阜県中学校体育大会

- スキー競技 アルペン 鈴口 諒真 (7年) 東海北陸大会出場
- スキー競技 クロス 北✓ 乃亜 (8年) 東海北陸大会出場

中学生学校給食選手権

ふるさと給食最優秀賞

英語ふるさとプロモーションコンテスト

優秀賞

岐阜県ふるさと教育表彰

優秀賞

2月の予定



「あたりまえ」ではなく、
何事にも「感謝の心」を

私事ですが、1月後半の「冷え込み」で、住宅の水道を凍結させてしまいました。

水が使えず、炊事・洗濯、トイレ等、生活が止まりました。ようやく水が出ると喜びで「やったー。」と叫びました。そして、前に読んだ新聞記事を思い出しました。

外国の方が、日本に来て驚くことに、「水」を贅沢に使う人々の姿と、蛇口をひねるとすぐに「湯水」が出るのだそうです。

私たちは、命を支える「水」を当たり前のように使っていると、そのありがたさを感じないまま日々を過ごしてしまいます。何かアクシデントがあってから思うようでも遅いです。

私たちは、常に何かに助けられて生きているのです。何事にも「感謝」です。

(副校長)

3月 主な予定

- 5日(月)卒業証書授与式
- 6日(火)石川県公立入試
- 7日(水)石川県公立入試
- スクールカウンセラー来校
- 8日(木)岐阜県・富山県公立入試
- 9日(金)岐阜県・富山県公立入試
- 13日(火)ひとりだちテスト(前期)
- 15日(木)岐阜県・富山県公立発表
- 16日(金)岐阜県公立二次出願
- 19日(月)岐阜県公立二次出願変更
- 21日(水)春分の日
- 22日(木)岐阜県公立二次選抜
- 23日(金)修了式・前期課程修了式・離任式(予定)
- 26日(月)岐阜県公立二次発表

日	曜	主な予定	最終下校		部活
			前期	後期	
1	木	委員会	16:15	16:35	×
2	金	飛び出せスーパー専門高校生 飛騨地区合同発表会(7・8年生)	16:15	16:35	×
3	土				☆
4	日	村民スキー大会			☆
5	月		15:15	15:15	×
6	火		16:15	16:35	×
7	水	新1年生入学説明会	16:15	16:35	×
8	木	橋本先生来校	16:15	16:35	×
9	金	「パラリピアン芦田創さん」講演会 漢字検定	16:15	16:35	×
10	土				☆
11	日	建国記念の日			☆
12	月	振替休日			☆
13	火		16:15	17:10	☆
14	水	スクールカウンセラー来校 SST修了式	16:15	16:35	×
15	木	伝統を引き継ぐ会 9年生ありがとうの会 学級懇談会・後期課程進級説明会	15:25	15:25	×
16	金	4時間授業(給食後下校)	13:15	13:15	×
17	土				☆
18	日				☆
19	月	岐阜県公立出願(22日正午まで)	15:15	16:35	×
20	火		16:15	16:15	×
21	水		16:15	16:35	×
22	木	学年末テスト(7・8年)	16:15	16:15	×
23	金	岐阜県公立出願変更(28日正午) 富山県公立一般出願	16:15	16:35	×
24	土				☆
25	日				☆
26	月	読谷村子ども交流事業(登校体験・授業体験)	15:15	15:15	×
27	火		16:15	17:10	☆
28	水	学費振替日	16:15	16:35	×



ひとりだち 自立・共生・貢献

白川郷学園だより 2月号

平成30年 1月31日

ホームページ

<http://school.shirakawa-go.org>

豪雪の村に育つ

早朝5時、まだ暗い村道には、すでに多くの除雪車が出動し、岐阜県一の除雪技術で、通勤・通学道路が美しく整備されます。

そして、児童生徒が目覚めるときには、除雪車はもとより、地域の多くの方が、子どもたちの登校が困らないようにと、家の近辺の雪またじをしてくださいます。子どもたちは毎朝、この目に見えない多くの方の支えで確保された通学路を、あたりまえのように登校します。改めて、学園の子どもたちの登下校を支えてくださる方々、見守ってくださる方々に感謝せずにはられません。ありがとうございます。

雪国だから当たり前なのかもしれませんが、天を仰ぎながら、「おい！もういい加減にやんでくれないか。」と叫ぶのは、私だけではないでしょう。学校の屋上にも雪庇が大きく張り出し、職員ですでに2度、縁の部分の雪を下ろしました。深く積もる雪が、山の木々を極限の寒さから守り、冬芽を育て、そして大自然の緑を支える水資源であることを知りながらも、人間は勝手なものだといつも思います。

さて、そういう私も、白川村の隣の飛騨市河合町の出身です。白川村の過去がそうであったように、自分の子ども時代(昭和40年代)には、除雪車といえばブルドーザーだけでしたから、登校の時間にはまだ除雪がされていないことも多くありました。しかし、通学路は、村の多くの方が、暗いうちから「かんじき」を踏んで子どもの通れる分だけはきちんと開けてくださっていたことを覚えています。大雪警報で授業を打ち切り、再びひざ上まで積もった大雪をかき分けながら身を寄せるように帰ったことも懐かしい思い出です。忘れられないのは、そんなとき、必ず、上級生が「和彦、カバンよこせよ。持ってやるで。」と自分のカバンと一緒に私のカバンをかついでくれました。私は、6年生の腰につかまりながら、大雪のたびに、「僕も6年生になったら兄ちゃんみたいになるぞ！」と憧れたものです。

白川の大雪は、合掌造り家屋が象徴するように、人の暮らしに多くの「文化」を生み出しています。だからこそ、この白川で育つ子どもたちには、この「雪国の暮らし」そして、「雪国の文化」を学んでほしいと思います。

24日には、吹雪にもかかわらず「命を守る訓練」を実施しました。どんな大雪の日でも地震はやってきます。だからこそ、そんな時に、どう自分の命を守るのか子どもたちにも考えさせます。

一方で、スキー教室に象徴されるように、雪国だからこそこのスポーツも満喫させます。休み時間にはたっぷりと雪と遊ばせます。31日には、学園の児童生徒会主催「雪上運動会」も開催しました。「迷惑な雪」を「遊びのステージ」に変える子どもならではの才能を発揮し、「日本一元気でたくましい白川村の子」に育ててほしいと願わずにはられません。



校長 水川和彦

